

受益者の皆様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「ロボット戦略 世界分散ファンド」は、2019年8月22日に第6期決算を行いました。

当ファンドはルクセンブルク籍投資法人「マン・アンブレラ・SICAV」のサブファンドである「マン・AHL・ダイバーシティ・オルタナティブ」が発行する外国投資信託証券への投資を通じて、先進国および新興国の株価指数先物取引、債券先物取引、金利先物取引および為替先物取引等を活用し、幅広い資産に投資を行い、値上がり益の獲得を目指します。当作成対象期間につきましてもそれに沿った運用を行いました。

ここに運用状況をご報告申し上げます。今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

ロボット戦略 世界分散ファンド
愛称:資産の番人

商品分類（追加型投信／内外／資産複合／
特殊型（絶対収益追求型））

第6期（決算日 2019年8月22日）

作成対象期間：2019年2月23日～2019年8月22日

第6期末（2019年8月22日）	
基準価額	11,744円
純資産総額	14,872百万円
第6期	
騰落率	18.4%
分配金合計	100円

(注) 騰落率は収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当ファンドは、約款において運用報告書（全体版）を電子交付することが定められています。運用報告書（全体版）については下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

<閲覧方法>

右記URL⇒ファンド情報⇒当ファンド名を選択⇒各種資料のダウンロード⇒「運用報告書（全体版）」を選択

T&Dアセットマネジメント株式会社

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

お問い合わせ先

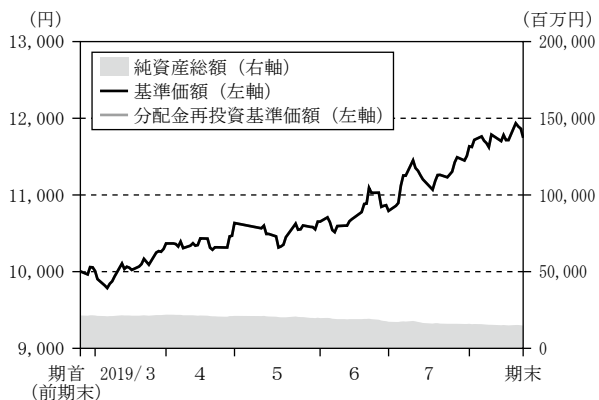
投信営業部 03-6722-4810

（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

<https://www.tdasset.co.jp/>

運用経過

基準価額等の推移



第6期首：10,004円
 第6期末：11,744円（既払分配金100円）
 騰落率：18.4%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、期首（2019年2月22日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
- (注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

基準価額の主な変動要因

高位に組入れている「マン・AHL・ダイバーシティ・オルタナティブー日本円クラス（ヘッジ付）」において、株式セクターがマイナスに寄与したものの、債券・金利セクターと通貨セクターがプラスに寄与したことから、基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

■ 組入ファンドの当期中の騰落率

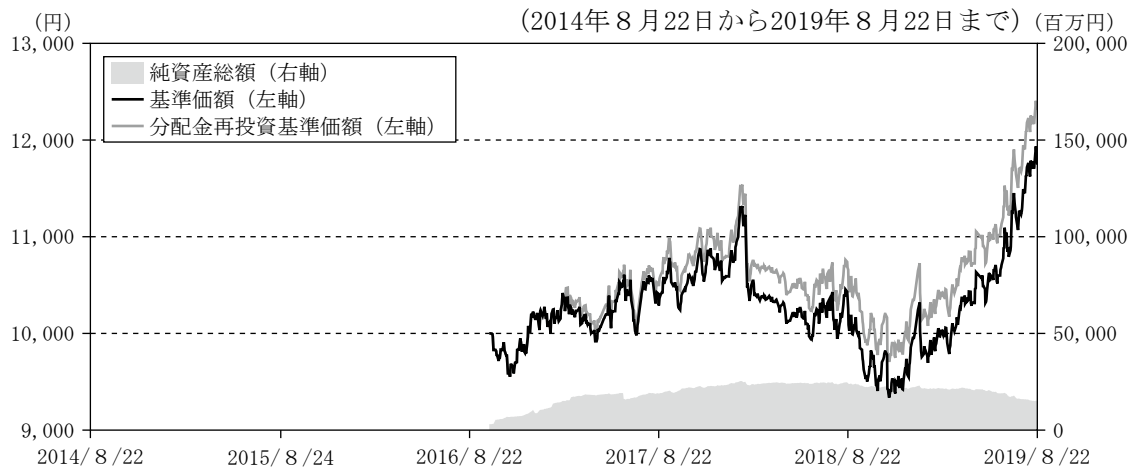
組入ファンド	騰落率
マン・AHL・ダイバーシティ・オルタナティブー日本円クラス（ヘッジ付）	19.3%
T&Dマネーアカウントマザーファンド	△ 0.0

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2019/2/23～2019/8/22 金額	比率	
平均基準価額	10,682円		期中の平均基準価額です。
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	53円 (22) (29) (2)	0.493% (0.204) (0.273) (0.016)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用 (監査費用) (その他)	1 (1) (0)	0.008 (0.008) (0.000)	(b) その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託に係る手数料
合計	54	0.501	

- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- なお、その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。
- (注) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）が支払った費用を含みません。
- (注) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注) 分配金再投資基準価額は、設定日(2016年9月30日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
- (注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

	2016年9月30日 設定日	2017年8月22日 決算日	2018年8月22日 決算日	2019年8月22日 決算日
基準価額(分配前) (円)	10,000	10,288	10,252	11,744
期間分配金合計(税込み) (円)	—	200	200	100
分配金再投資基準価額の騰落率(%)	—	4.9	1.6	15.5
純資産総額 (百万円)	3,114	18,774	24,176	14,872

- (注) 当ファンドは、特定の指数に連動すること・指数を上回ることを目的として運用していないため、また、運用方針に対し適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。
- (注) 設定日の基準価額および純資産総額には、当初元本を用いております。

■ 株式市場

期初から2019年4月末にかけては、米国企業業績が堅調を維持、米中貿易摩擦の緩和観測、主要国中央銀行の金融政策転換等を背景にリスク選好型環境が継続し世界の株式市場は上昇しました。欧州では、英国のEU（欧州連合）離脱を巡る不透明感、欧州域内経済の先行き不安等で株価の下押し局面もありましたが、英ポンド安進行の恩恵や中央銀行の金融緩和政策等が株価を押し上げました。5月は、トランプ政権と中国との貿易交渉が決裂、貿易摩擦激化懸念が高まり、世界的な景気減速懸念が浮上したことから、米国、欧州とアジアの主要株価指数は大きく下落しました。6月に入り、FRB（米連邦準備制度理事会）による7月利下げ示唆、主要国中央銀行の景気刺激策による景気拡大維持への期待から株価は反騰し、7月末にかけて、英国でEU離脱強硬派のジョンソン氏の首相就任、米中貿易摩擦懸念の再燃等のマイナス材料はありましたが堅調に推移しました。その後期末にかけては、米欧中央銀行の金融緩和姿勢が市場の期待するほど積極的ではなかったことや世界経済の先行き不安等を受け、株式市場は若干下落しました。

■ 債券市場

期初には、欧米の一部経済指標に減速が見られ始め、米国の長短金利（3ヵ月債利回りと10年債利回り）が逆転し景気減速懸念が高まったことから、主要国中央銀行がハト派化（金融引締めに慎重な姿勢）したことを受けて世界的に金利低下傾向となりました。2019年4月は、金融政策中立化へのシフトを材料に投資家のリスク資産選好が強まり、安全資産売りにより金利が上昇する局面もありましたが、5月以降は、米中貿易摩擦懸念の高まりやメキシコへの制裁関税の強化など、トランプ政権の外交政策が世界経済の先行き不透明感を高めたことが金利低下を促す材料となりました。FOMC（米連邦公開市場委員会）では金融政策方針を緩和方向へ転換、ECB（欧州中央銀行）ドラギ総裁も追加金融緩和を強く示唆した事で世界の主要国中央銀行による金融緩和の流れが決定的となったことから、期末にかけて金利は更に一段低下する展開となりました。

■ 為替市場

期初から2019年4月末にかけては、米金融政策変調や米中貿易摩擦懸念を材料に米ドル安となる局面もありましたが、相対的に良好な景気状況や株価上昇等を受け米ドルは堅調な推移となりました。5月は方向感のない動きに終始しましたが、6月に米金利引下げ観測が高まると米ドルは主要通貨に対しほぼ全面安の動きとなりました。7月以降は、米大統領の中国けん制発言、ホルムズ海峡の軍事的緊張等から為替変動率が上昇するなか、米景気の堅調さが目立ち総じて米ドル回帰の動きとなりました。この間にユーロは、欧州域内経済指標の不調、経済の先行き不安や早期の金融緩和期待を背景に、FRBの早期予防的利下げ観測から米ドル売りが強まった6月を除き、ユーロ安基調が続きました。また、EU離脱を巡る混乱が続く英ポンドについても期間を通じて軟調推移となりました。日本円については、期初は方向感の定まらない動きとなりましたが、5月以降は概ね円高米ドル安の展開となりました。新興国通貨については、ブラジルやインドでは政局リスク、メキシコや中国では米国の制裁関税による地政学的リスク等、各国で様々な変動要因がありましたが、総じて米ドル高新興国通貨安の展開となりました。

■ 国内短期金融市況

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期首の△0.21%から期末は△0.14%となりました。期中においては、需給悪化懸念や日銀の国庫短期証券買入オペ動向を巡る不透明感などが金利上昇要因となり、海外勢による需要や担保需要などが金利低下要因となりました。

当該投資信託のポートフォリオ

■ 当ファンド

「マン・AHL・ダイバーシティ・オルタナティブー日本円クラス（ヘッジ付）」の組入比率は概ね高位を保ちました。また、「T&Dマネーアカウントマザーファンド」を組入れました。

■ マン・AHL・ダイバーシティ・オルタナティブー日本円クラス（ヘッジ付）

主として先進国および新興国の株価指数先物取引、債券先物取引、金利先物取引および為替先渡取引等を投資対象とし、システムチック運用により、買建（ロング）ポジションと売建（ショート）ポジションを取ることで、市場の上昇および下落双方の局面においても収益を追求することを目的として運用を行いました。

■ T&Dマネーアカウントマザーファンド

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

分配金

1万口当たりの分配金（税込み）は、基準価額水準等を勘案し、100円とさせていただきます。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項目	当期
	2019年2月23日 ～2019年8月22日
当期分配金	100
(対基準価額比率)	0.844
当期の収益	100
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,743

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

■ 当ファンド

「マン・AHL・ダイバーシティ・オルタナティブー日本円クラス（ヘッジ付）」の組入比率を高位に保ち、「T&Dマネーアカウントマザーファンド」を組入れた運用を行う方針です。

■ マン・AHL・ダイバーシティ・オルタナティブー日本円クラス（ヘッジ付）

主として先進国および新興国の株価指数先物取引、債券先物取引、金利先物取引および為替先渡取引等を投資対象とし、システムチック運用により、買建（ロング）ポジションと売建（ショート）ポジションを取ることで、市場の上昇および下落双方の局面においても収益を追求することを目的として運用を行います。

■ T&Dマネーアカウントマザーファンド

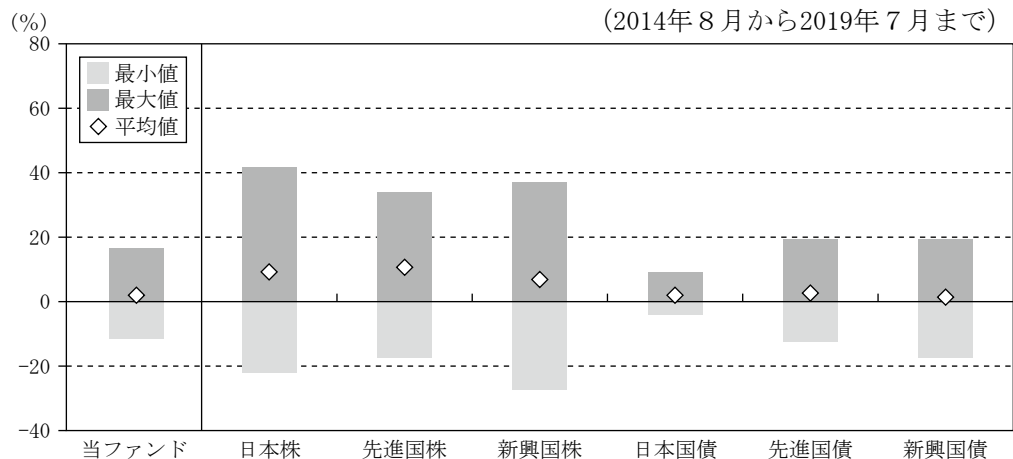
日本経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、緩やかな回復が続くことが期待されます。インフレ率は緩やかに上昇していくことが見込まれるものの、依然、基調的なインフレ圧力は弱く、インフレ期待が急速に高まる可能性は低いとみられます。こうした中、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内短期金利は低位で推移すると予想します。相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合／特殊型（絶対収益追求型）	
信託期間	2016年9月30日から2021年8月23日まで	
運用方針	値上がり益の獲得を目指して運用を行います。	
主要運用対象	ルクセンブルク籍投資法人「マン・アンブレラ・SICAV」のサブファンドである「マン・AHL・ダイバーシティ・オルタナティブ」が発行する外国投資信託証券「日本円クラス（ヘッジ付）」および国内の証券投資信託である「T&Dマネーアカウントマザーファンド」を主要投資対象とします。	
	マン・AHL・ダイバーシティ・オルタナティブ・日本円クラス（ヘッジ付）	先進国および新興国の株価指数先物取引、債券先物取引、金利先物取引および為替先物取引等を主要投資対象とします。
	T&Dマネーアカウントマザーファンド	わが国の国債、公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への直接投資は行いません。 有価証券先物取引等の派生商品取引の指図は行いません。	
分配方針	毎決算時（2月と8月の22日、休業日の場合は翌営業日）に分配を行います。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

【参考情報】

■ 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	2.0	9.3	10.6	6.9	2.0	2.7	1.4
最大値	16.5	41.9	34.1	37.2	9.3	19.3	19.3
最小値	△11.6	△22.0	△17.5	△27.4	△4.0	△12.3	△17.4

(注) 上記は、2014年8月から2019年7月の5年間の各月末における直近1年間騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

(注) 当ファンドおよび代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものであり、全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 騰落率は直近月末から60ヵ月遡って算出した結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

(注) 当ファンドは2016年9月30日に設定されたため、2017年9月以降のデータをもとに表示しております。

○各資産クラスの指数

日本株・・・東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株・・・MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株・・・MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債・・・NOMURA-BPI 国債

先進国債・・・FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

※詳細は後述の「指数に関して」をご参照ください。

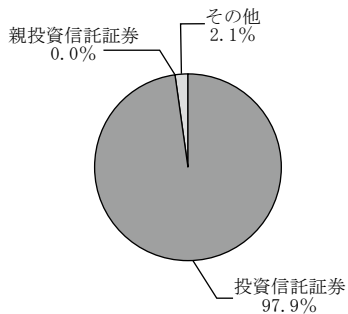
当該投資信託のデータ

当該ファンドの組入資産の内容

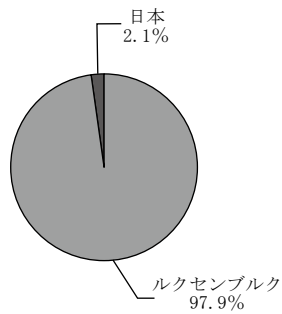
■ 組入（上位）ファンド（銘柄）

銘柄名	当期末
	2019年8月22日
	比率
マン・AHL・ダイバーシティ・オルタナティブー日本円クラス（ヘッジ付）	97.9%
T&Dマネーアカウントマザーファンド	0.0
その他	2.1

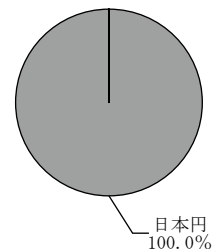
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注) 組入（上位）ファンド（銘柄）および各配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 国別配分は発行国を表示しております。

※詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）をご覧ください。

純資産等

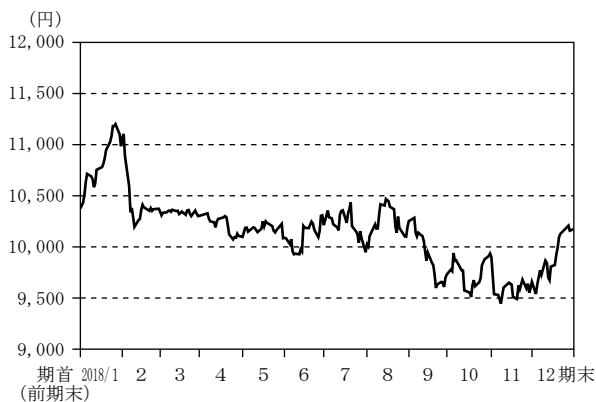
項目	当期末
	2019年8月22日
純資産総額	14,872,864,800円
受益権総口数	12,664,685,494口
1万口当たり基準価額	11,744円

(注) 期中における追加設定元本額は1,857,126,634円、同解約元本額は10,627,715,280円です。

組入上位ファンドの概要

マン・AHL・ダイバーシティ・オルタナティブー日本円クラス（ヘッジ付）（2018年1月1日から2018年12月31日まで）

■ 基準価額の推移



■ 1口当たりの費用明細

1口当たりの費用明細に相当する情報がないため、開示することができません。

以下は、「マン・AHL・ダイバーシティ・オルタナティブ」の状況です。

■ 組入銘柄

(組入銘柄数：6銘柄)

銘柄名	通貨	比率
United States Treasury Bill 0.00% 11/Apr/2019	USD	7.4%
United States Treasury Bill 0.00% 16/May/2019	USD	6.2
United States Treasury Bill 0.00% 7/Mar/2019	USD	5.9
United States Treasury Bill 0.00% 7/Feb/2019	USD	5.6
United States Treasury Bill 0.00% 4/Apr/2019	USD	5.5
United States Treasury N/B 0.00% 3/Jan/2019	USD	1.5

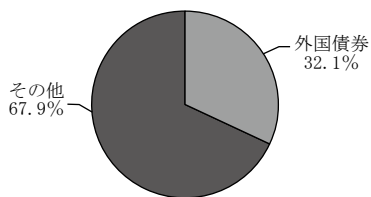
■ 為替先渡取引（上位10銘柄）

通貨		比率
買い	売り	
JPY	USD	140.4%
USD	JPY	37.6
USD	EUR	31.1
JPY	EUR	24.9
USD	CAD	21.3
EUR	USD	21.1
JPY	AUD	18.5
USD	AUD	16.8
PLN	EUR	16.5
EUR	NOK	15.2

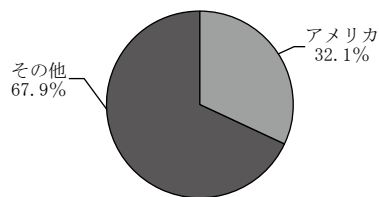
■ 先物取引（上位10銘柄）

買い			売り		
銘柄名	通貨	比率	銘柄名	通貨	比率
3 Month Euribor	EUR	133.2%	E-mini S&P 500 Future	USD	4.2%
10 Year Japanese Bond	JPY	63.0	Hang Seng Index Future	HKD	3.7
Euro-OAT Futures	EUR	60.4	KFE Korea 200 Index	KRW	3.2
Euro Bund Future	EUR	46.6	FTSE/JSE Top40 Index Future	ZAR	3.2
90 days australian bank bill future	AUD	36.5	CNX Nifty Index Future	USD	2.9
10 Year US Treasury Note Future	USD	36.3	Russell 2000 Future	USD	2.7
90 Day Sterling Future	GBP	30.2	DJ Euro Stoxx 50 Future	EUR	2.6
10-Year Australian Treasury Bond Future	AUD	28.6	FTSE 100 Index Future	GBP	2.6
Bank Acceptance Future	CAD	24.7	DAX Index Future	EUR	2.6
Long Gilt Future	GBP	19.5	Swiss Market Index Future	CHF	2.4

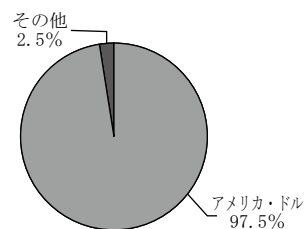
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



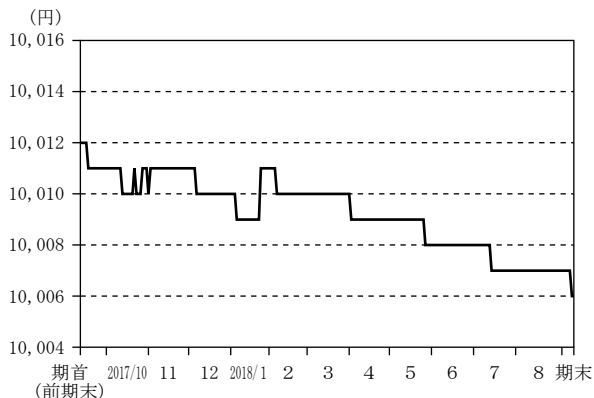
(注) 組入銘柄、為替先渡取引、先物取引および各配分のデータは監査報告書等の入手可能な直近の決算日（2018年12月31日）現在のものです。日付は現地基準日です。

(注) 組入銘柄、為替先渡取引、先物取引および各配分の比率は純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 組入銘柄、為替先渡取引、先物取引および各配分はマン・グループ・ジャパン・リミテッドより入手したデータをもとに作成したものです。

※詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）をご覧ください。

■ 基準価額の推移



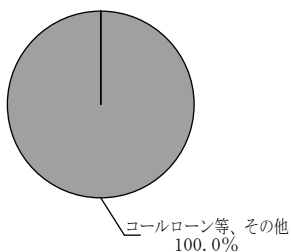
■ 組入銘柄

当期末における組入れはありません。

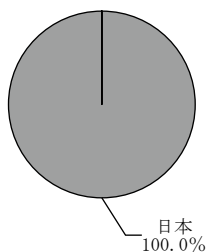
■ 1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	2017/9/12~2018/9/10	
	金額	比率
平均基準価額	10,009円	
その他費用 (その他)	0円 (0)	0.000% (0.000)
合計	0	0.000

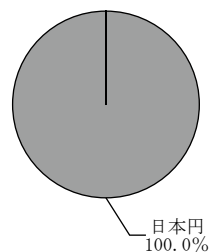
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注) 1万口当たりの費用明細は直近の決算期のもので、費用項目につきましては1ページ(1万口当たりの費用明細の項目の概要)をご参照ください。

(注) 各配分のデータは直近の決算日現在のものです。

(注) 各配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 国別配分は発行国を表示しております。

※詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

指数に関して

○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）とは、東証第一部上場全銘柄の時価総額を基準時の時価総額で除して算出したわが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。TOPIXに関する一切の知的財産権その他一切の権利は株式会社東京証券取引所に帰属します。

MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIコクサイ・インデックスはMSCIが開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国の株式市場の動きを捉える指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCIが開発した新興国の株式市場の動きを捉える株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。

NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村証券株式会社が公表している指数で、日本で発行されている公募利付国債の市場全体を表す投資収益指数です。その知的財産権は野村証券株式会社に帰属します。なお、野村証券株式会社は、対象インデックスを用いて行われるT&Dアセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

JPMorganGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

JPMorganGBI-EMグローバル・ディバーシファイドは、JPMorgan社が算出し公表している、現地通貨建てのエマージング・マーケット債で構成されている指数です。同指数の著作権はJPMorgan社に帰属します。

T&D

T&D保険グループ